

# 三菱 IH クッキングヒーター (家庭用)

販売店・据付業者様用

## 据付説明書

### 形名

2口IHタイプ

□ CS-G217BS

□ CS-G217B

1口IH + ラジエントタイプ

□ CS-H217B

### 据付けされる方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 据付け完了後に試運転を行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。

## もくじ

### 1：据付け前に

- 1-1. 安全のために必ずお守りください .....2
- 1-2. 使用部品(同梱品) .....3
- 1-3. 使用箇所 .....3
- 1-4. 外形寸法図 .....3
- 1-5. 据付け場所の選定 .....4
- 1-6. 据付け制約 .....6

据付け前に

### 2：電気工事

- 2-1. 専用回路と漏電遮断器の設置 .....7
- 2-2. コンセントの設置 .....7

電気工事

### 3：据付け

- 3-1. 据付け前の準備 .....8
- 3-2. 本体の据付け .....8
- 3-3. 本体とキッチンの固定 .....9
- 3-4. 同梱品の取り付け .....10
- 3-5. 据付け後の確認 .....10

据付け

### 4：試運転

- 4-1. 試運転手順 .....11
- 4-2. お客様への説明 .....12

試運転

- この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。

# 1：据付け前に

## 1-1. 安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



**注意**

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。



禁止



分解禁止



接触禁止



アース線を必ず接続せよ



指示に従う



**警告**



禁止

トッププレートに衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因  
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない



指示に従う

据付けは、販売店または専門の工事店が実施する

間違った据付けは、事故の原因  
お客様ご自身での据付けは、事故の原因



分解禁止

分解・改造・修理はしない

発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因  
※トッププレートを取り外さない  
※電源コードの直付けはしない



指示に従う

据付け部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

当社指定部品を使用しないと、事故の原因



アース線を必ず接続せよ

アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う

漏電時に感電のおそれあり



指示に従う

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因



指示に従う

200V・20A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する

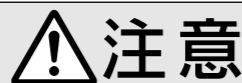
この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれあり



指示に従う

据付けは、この「据付説明書」に従って、確実にを行う

据付けに不備があると、漏電・火災の原因



**注意**



接触禁止

試運転時、トッププレート高温注意ランプが点灯中は、トッププレート・その周辺の金属部分や鍋に触れない

高温のためにやけどの原因  
※高温注意ランプが消えても、すぐには触らない



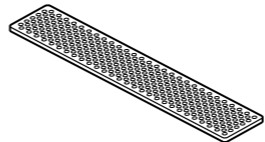
指示に従う

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う

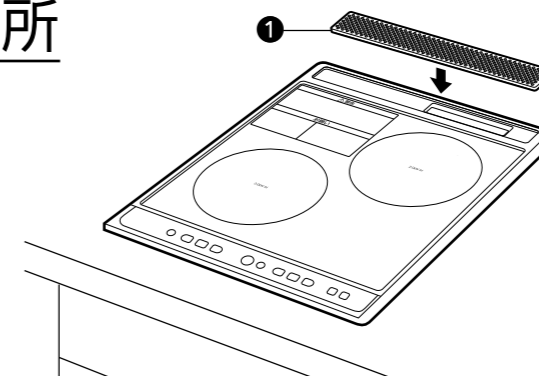
耐熱性の低い材料を使用すると、変形の原因  
※ニス引きのものは変色するため、使わない  
熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上のものを使う

## 1-2. 使用部品(同梱品)

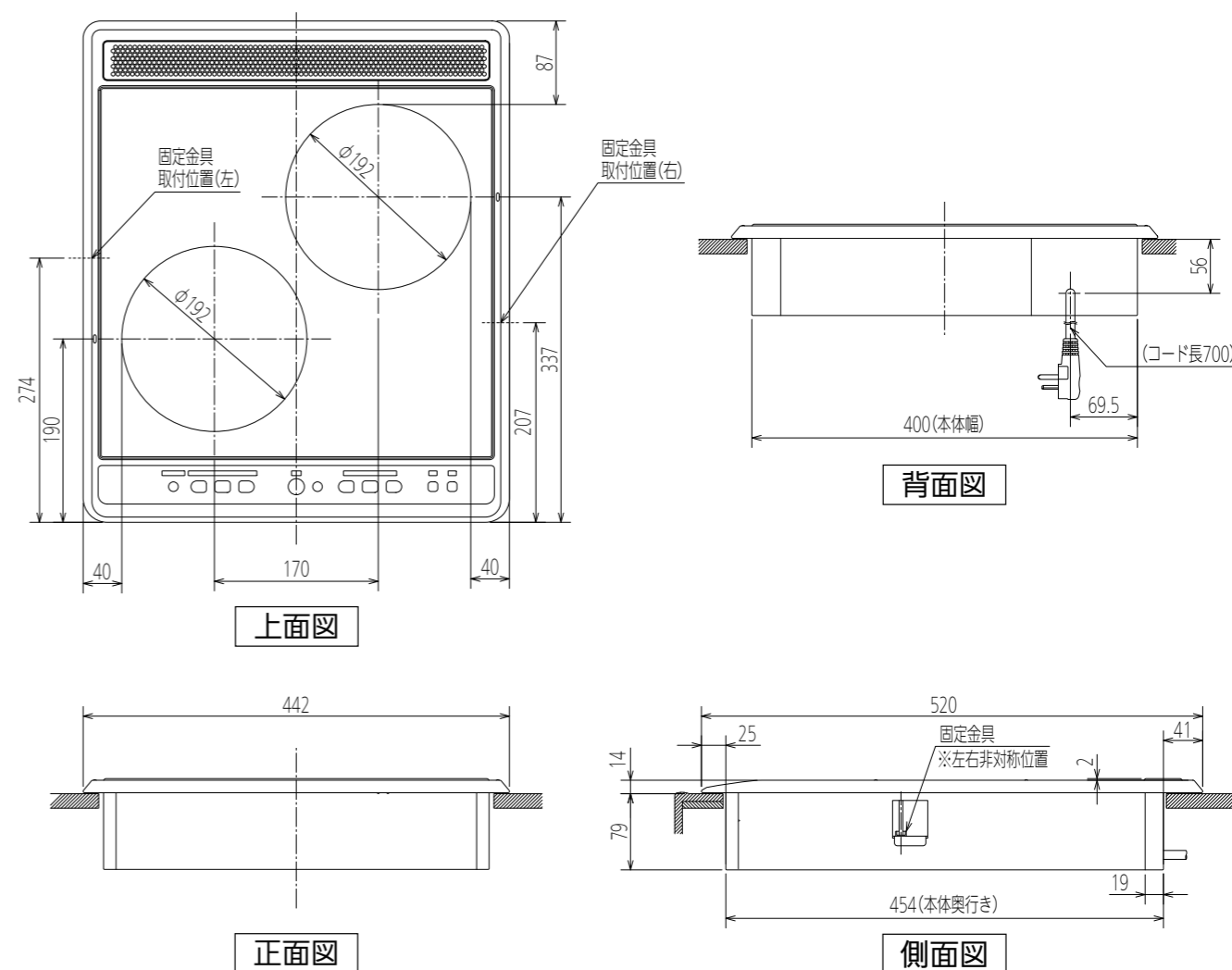
■同梱品

①排気カバー	②説明書
1個 	取扱説明書 ... 1部 据付説明書 ... 本書 保証書 ..... 1部

## 1-3. 使用箇所



## 1-4. 外形寸法図 単位：mm



# 1 - 5. 据付け場所の選定

本IHクッキングヒーターは、日本電機工業会自主基準で制定された『特定の安全性を備えた調理油過熱防止装置付電磁誘導加熱式調理器の設置に関する自主基準(HD-134)』において『特定安全IH調理器』として適合した製品です。

※CS-H217B(後方がラジエントヒーターのもの)は除く

火災予防条例、電気設備技術基準に従って据付けしてください。

## 壁・天井等からの距離

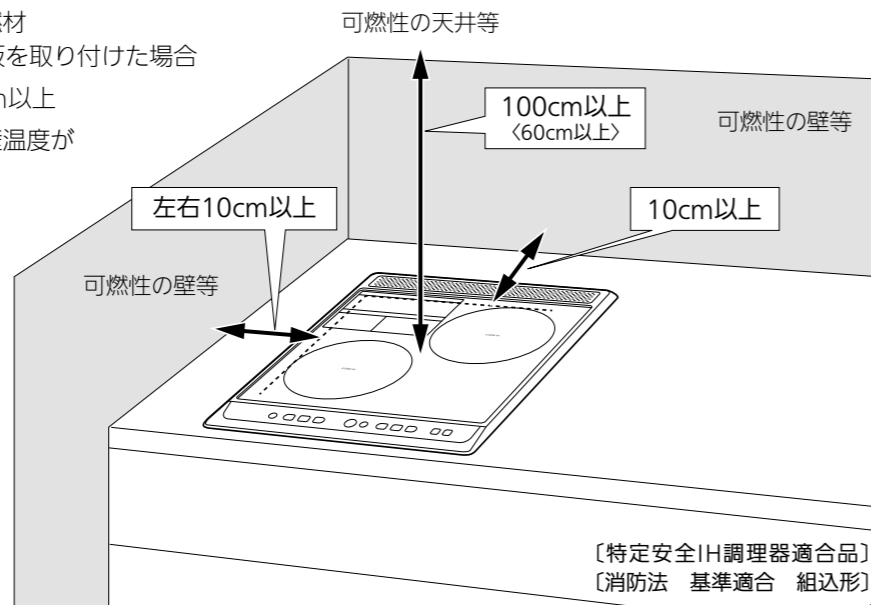
### ■周囲が可燃性の壁の場合(防火構造壁以外)

#### CS-G217BS・CS-G217B(2口IHタイプ)の場合

※くく内は上方がレンジフードファン及び不燃材  
または後方、側方の壁が不燃材または防熱板を取り付けた場合

※周囲の壁が不燃材の場合：本体外枠から0cm以上

※防熱板を設けたとき、機器周辺の可燃性の壁温度が100℃を超えない断熱性を有すること  
(室温：35℃)

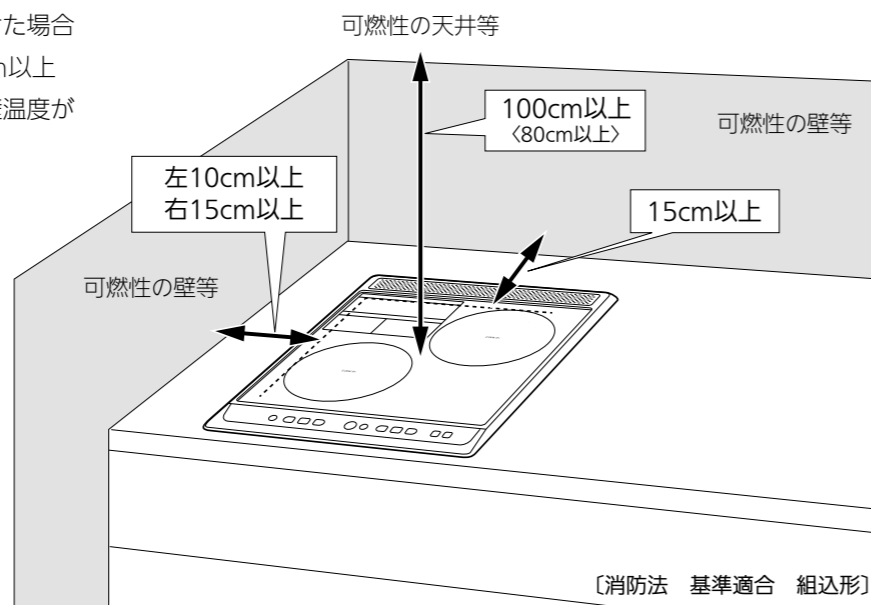


#### CS-H217B(1口IH+ラジエントタイプ)の場合

※くく内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合

※周囲の壁が不燃材の場合：本体外枠から0cm以上

※防熱板を設けたとき、機器周辺の可燃性の壁温度が100℃を超えない断熱性を有すること  
(室温：35℃)

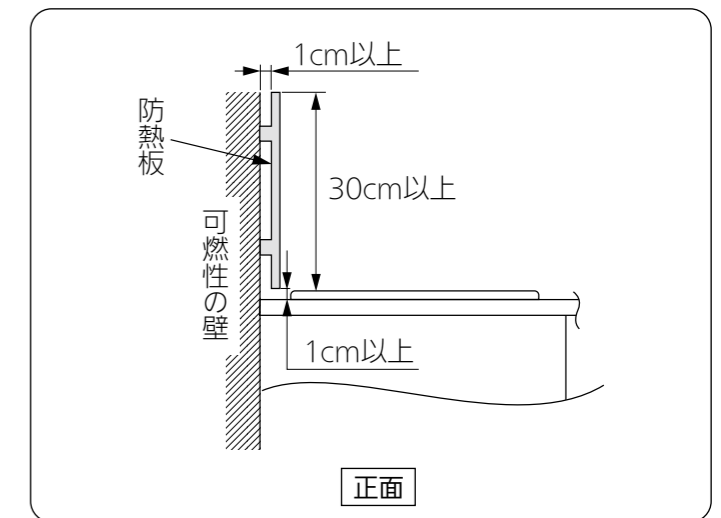
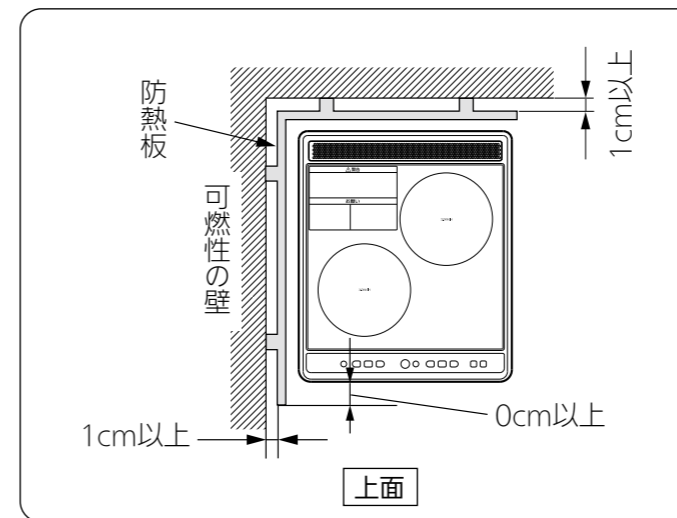


### お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金具(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準で危害なきよう据付けすることが定められています)

### ■可燃性の壁から、前ページの距離を離して据付けできない場合

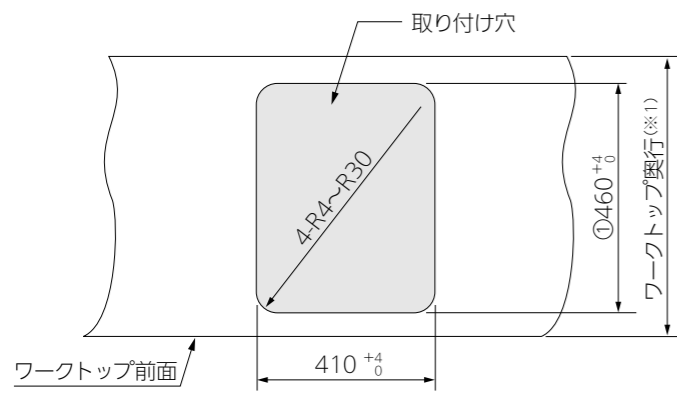
- 防熱板を取り付ける



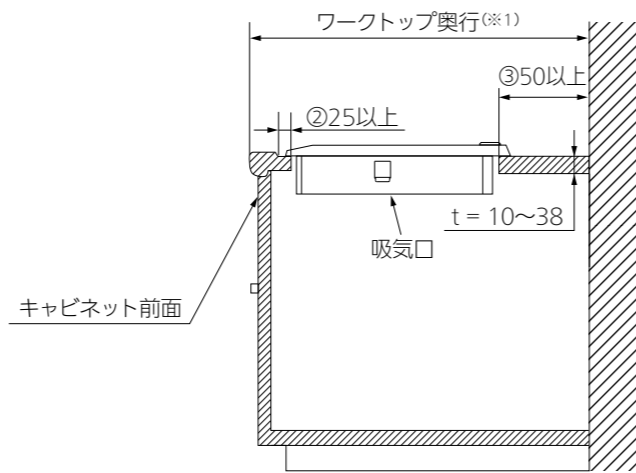
# 1 - 6. 据付け制約

★IHクッキングヒーターの設置面はフラットであること

単位：mm

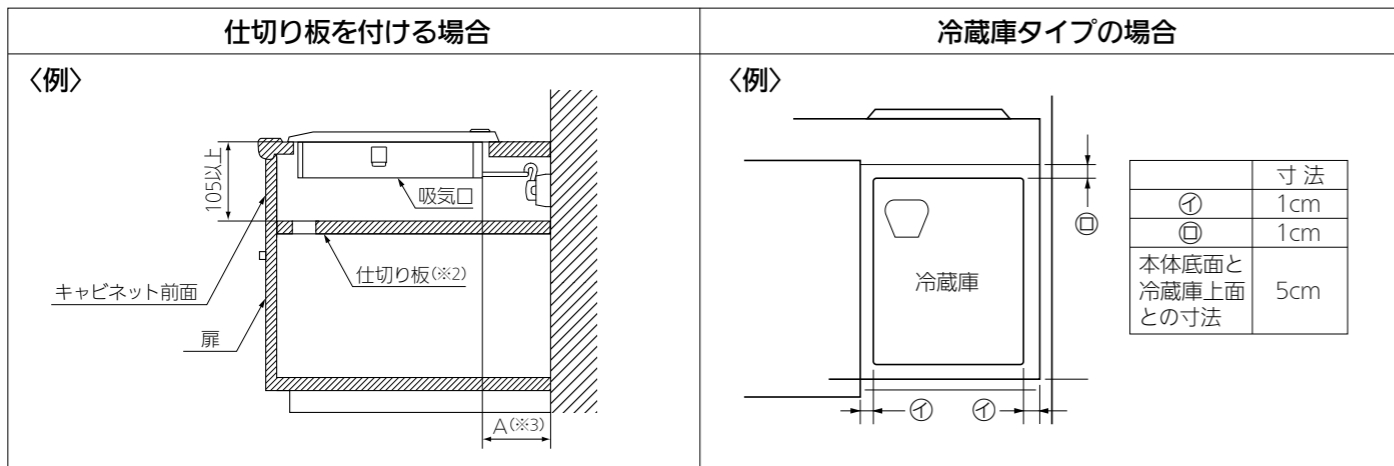


取り付け穴寸法図



側面図

■キッチンなどに組み込む場合は、本体吸気口に、外気を取り入れるための開口が必要です。



※1 ワークトップ奥行寸法については、①取り付け穴寸法：460 +4/0、②穴前部寸法：25以上、③穴後部寸法：50以上を確保してください。

※2 仕切り板を付ける場合は  
 ・着脱式にしてください。(固定金具取り付け時に取り外すため)  
 ・クッキングヒーター固定後に取り付け、100cm<sup>2</sup>以上の開口を設けてください。

※3 パナソニック製の露出コンセント(WKS294)を使う場合は、A寸法が60mm以上必要です。また、埋込型コンセントが背面にある場合は、A寸法が30mm以上必要です。

# 2：電気工事



**警告**



アース線を必ず接続せよ

アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事がD種接地工事を行う

漏電時に感電のおそれあり



指示に従う

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事が施工し、必ず専用回線を使用する

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

## 2 - 1. 専用回路と漏電遮断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

- 200V・20A以上の専用回路を設置する
- 電源は必ず「単相3線式 200V」を使用する
- 三相200V(動力電源)には絶対に接続しないでください。(故障の原因)
- 屋内配線用電線は、線径φ2.0mm以上のものを使ってください。
- ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合は、それに従ってください。

■漏電遮断器を必ず設置する

【推奨漏電遮断器】 定格電流20A、感度電流15mA

パナソニック製：BJS2022N(HBモジュール)

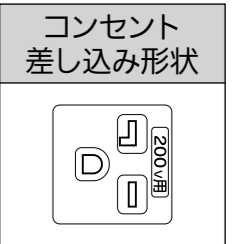
BSHE22022(コンパクトタイプ)

## 2 - 2. コンセントの設置 単位：mm

■電源コンセント …… 単相定格250V・20A(一極接地用)

※推奨コンセント パナソニック製：WKS294(露出型) WN1932(埋込型)

- 電源コードの直付けは、絶対にしないでください。
- ※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。



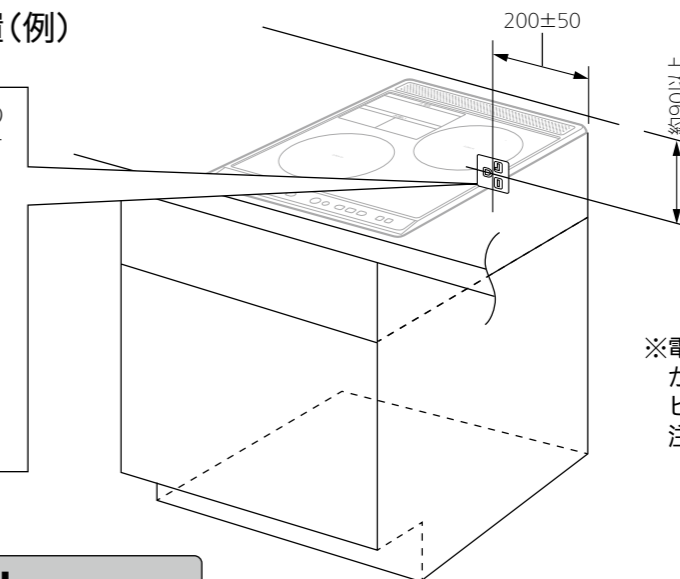
■推奨コンセントの位置(例)

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】



※コンセントの向きに注意してください。コードがキャビネットにあたりません。



※電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。



**警告**



分解禁止

分解・改造・修理はしない  
 発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因  
 ※トッププレートを取り外さない  
 ※電源コードの直付けはしない

※システムキッチンに据付けする場合

システムキッチンに据付けする場合は、システムキッチンに添付の取付・設置説明書に従い、十分な取付強度を確認の上、コンセントを取り付けてください。

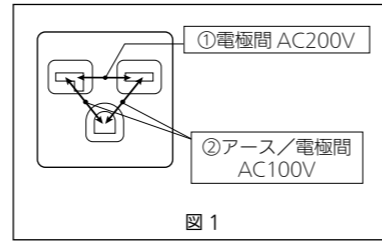


# 3 : 据付け

## 3 - 1. 据付け前の準備 **重要**

### 1 正しく単相200V配線がされているか確認する(図1参照)

- テスターで測定する
- ① 電極間AC200V
- ② アース/電極間AC100V



## 3 - 2. 本体の据付け

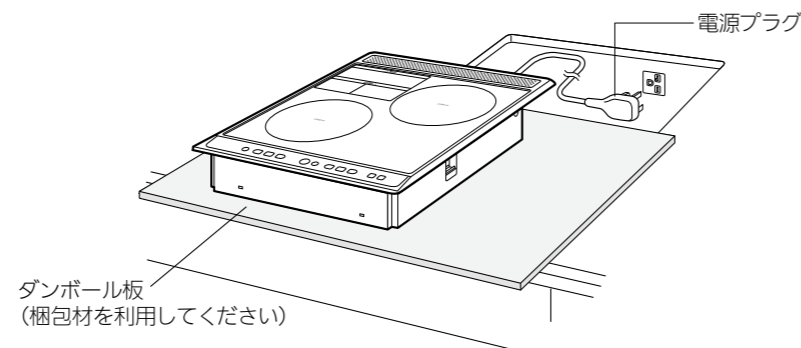
■ ガス事業者への連絡をせずに、ガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは、法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。

■ 据付け場所が、常に水平で安定していることを、必ず確認してください。

### 本体の据付け (ブレーカーを“切”にして、据付けを行ってください)

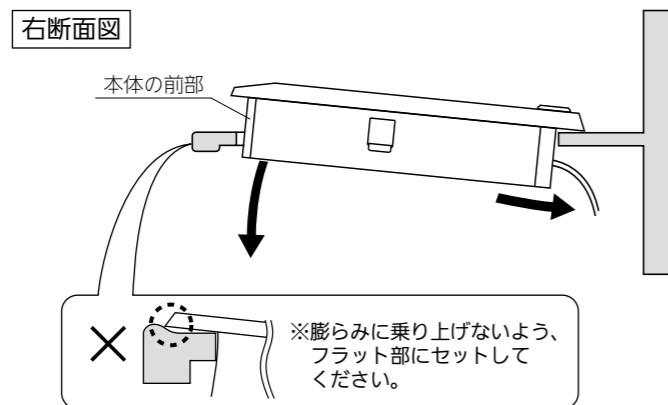
### 1 電源プラグを差し込む

- ワークトップに傷を付けないように、外装箱を切断して使用してください。



### 2 ワークトップに本体を垂直にはめ込む

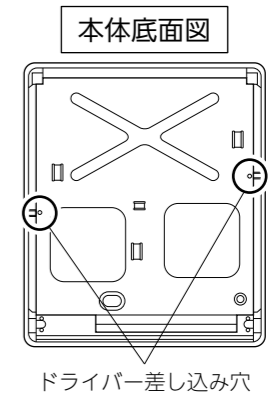
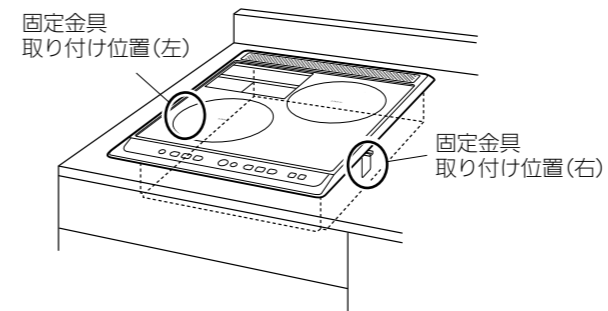
- 本体をワークトップに当てない
- フレーム下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認する  
(本体挿入時に、本体の底面・側面とキャビネットの間に電源コードが挟まると、本体が浮いて、すき間がバラつきます。  
※背面のすき間が狭いキッチンの場合は、本体を前側へ寄せ、電源コードのスペースを確保してください。)



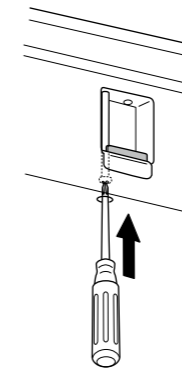
## 3 - 3. 本体とキッチンの固定

### 3 ワークトップに固定金具を固定する(左右2箇所)

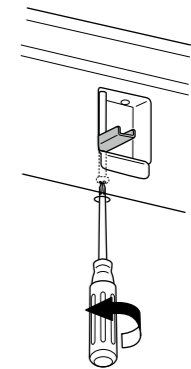
※ドライバーは、トルク管理のできるものを使用してください。  
締め付けすぎると、固定金具が破損します。



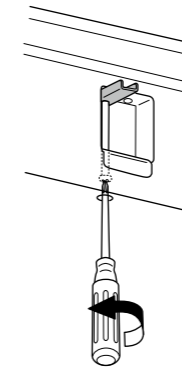
1 本体底面のドライバー差し込み穴より、本体内にあるネジの十字ミゾにドライバーを差し込む



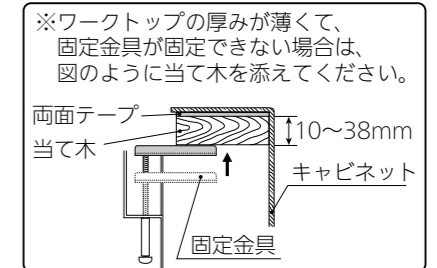
2 ドライバーを反時計回り(緩める方向)に回してください。  
※固定金具が、本体から出てきます。



3 さらにドライバーを反時計回り(緩める方向)に回すと、固定金具が上昇し、ワークトップに固定できます。  
※締めつけトルクは、**0.6 ~ 0.7N・m**  
締めつけ過ぎると、固定金具が破損します。

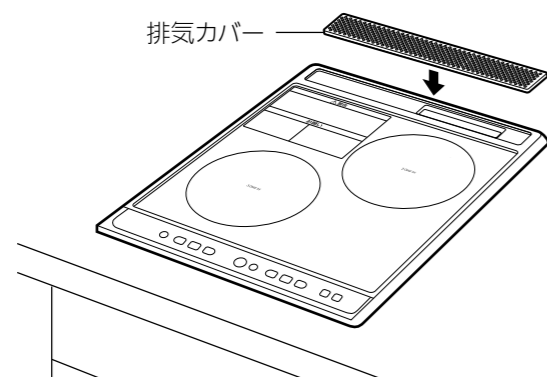


4 同様に、残りの固定金具も固定してください。



### 3 - 4. 同梱品の取り付け

#### 4 排気カバーを取り付ける



### 3 - 5. 据付け後の確認

■据付けが完了しましたら、下表に従ってもう一度点検し、チェック欄に○印をしてください。不具合がありましたら、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

確認項目		チェック
梱包材の取り外し	ダンボール・テープ類・ビニールシートなどの取り忘れがないか？	
同梱品の取り付け	排気カバー	
外観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？	
電気工事	<b>重要</b> アース接地工事(D種)が行われているか？ ※接地抵抗値は100Ω(低圧電路において、地絡を生じた場合に0.5秒以内に当該電路を自動的に遮断する装置を施設するときは、500Ω)以下であること。 ※ご不明な点は、販売店または電気工事店にご相談ください。	
	<b>重要</b> 漏電遮断器が設置されているか？	
固定金具	締め付けされているか？	

## 4：試運転

### 4 - 1. 試運転手順

#### 試運転確認

■お客様立ち会いで試運転を行ってください。  
据付け完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に○印をしてください。

#### CS-G217BS・CS-G217B(2口IHタイプ)の場合

※ここでは、左IHヒーターを使う場合で説明しています。(右IHヒーターも同様です)

確認項目		チェック
<b>1</b>	ブレーカーを「入」にする	
<b>2</b>	をピッと鳴るまで押し、電源を入れる	→  が点灯する
<b>3</b>	各ヒーターの動作確認をする(お湯を沸かして確認) (1)IHヒーターの上に、水を入れた鍋を置く	
	(2)  を押す	→  が点灯する
	(3)   のどちらかを押し、火力を選び、加熱する	→ はじめは、自動で火力「4」で加熱が始まります。 水があたたまることを確認する
電源電圧が低い場合、表示部に  の表示が出て、右火力ランプの「1」    が点灯します。 100V電源との判定なので、 <b>8ページ</b> 「3-1.据付け前の準備」の手順 <b>1</b> を再確認してください。 ※鍋を置かないで操作をすると、「鍋なし自動停止機能」が働き、火力ランプが点滅します。(約1分後に自動的に通電が切れる)		
■終わったら、 を押してIHヒーターの電源を切り、 を押して、本体の電源を切る		

#### CS-H217B(1口IH+ラジエントタイプ)の場合

※上記 **1**~**3** の手順を確認後、右ヒーター(ラジエントヒーター)の確認をしてください。

確認項目		チェック
<b>4</b>	右ヒーターの動作確認をする	
(1)	を押す	→  が点灯する
(2)	を押して、火力7を選び、加熱する	→ ●約5秒後に、トッププレートの右ヒーター部分が赤熱することを確認する
■終わったら、 を押して右ヒーターの電源を切り、 を押して、本体の電源を切る		

据付完了  
確認者印

据付け前に

電気工事

据付け

試運転



Memo

A series of horizontal dashed lines for writing on page 14.

Memo

A series of horizontal dashed lines for writing on page 15.



据付年月日	年 月 日
据付店名	
	TEL

お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。

**三菱電機株式会社**  
**三菱電機ホーム機器株式会社**

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1